



自己検査用グルコース測定器

ニプロFS Next™

取扱説明書



【製品に関するお問い合わせ先】

 0120-834-226

24時間365日 電話受付

※平日17:30～翌日9:00/土・日・祝はサービス内容が限られます。

電話番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようお願いいたします。

当フリーダイヤルでは、お客様に適切な対応をさせて頂くために個人情報をお伺いしております。  
必要な情報を頂けない場合には適切な対応等ができない場合があります。

高度管理医療機器(クラスⅢ) 特定保守管理医療機器



ニプロFS Nextをお買い上げ頂きありがとうございます。

ニプロFS Nextは安全かつ簡単に血糖値を測定できます。わずか0.3 $\mu$ Lの血液を用い、約4秒で正確な結果を得ることができます。

この取扱説明書には、血糖測定をするための正しい操作方法や大切な情報が記載されています。

お使いになる際は、必ず本書をよくお読みになり、正しく理解したうえでご使用ください。

あわせて、血糖自己測定の際に必要ななります「ニプロFS Next」「ニプロFS 血糖センサー ライト」の電子添文もお読みになり、それらの注意事項をお守りください。

## 特定保守管理医療機器

血糖自己測定器(自己検査用グルコース測定器)は特定保守管理医療機器です。

特定保守管理医療機器とは、適正な管理が行われなければ重大な影響が出るおそれがあるものとして、厚生労働大臣により指定されたものと法に定められています。

医療機関には、特定保守管理医療機器の保守点検に関する計画の策定やその実施が義務付けられています。ご使用にあたっては、医療機関の指導に基づき、日常点検等適正な使用をお願いします。

## 目次

## はじめに

目次	3
安全にお使い頂くために	5
製品仕様	15
ニプロFS Nextのセット内容	17
ニプロFS血糖センサー ライト	18
各部の名称(メータ)	19
各部の名称(画面表示)	20
メータの操作	21
メインメニュー	23

## 準備

日時の設定	27
音の設定	31
明るさの設定	35
アラームの設定	37

血糖値の目標値設定	39
じゃんけん	41
表示方向	43
精度管理	45
血糖値の測定	55
High, Lowの表示	63

## その他の機能

測定結果を表示する	65
データ通信(Bluetooth®無線通信の使い方)	67
データ通信(NFC無線通信の使い方)	75
メータの充電方法	79
エラーメッセージ	83




## メンテナンス

こんな時は?	87
--------	----

システムを安全かつ最適に使用するため、ご使用前にこの取扱説明書をすべてお読みください。  
次ページ以降の危険、警告、注意にご留意ください。

## 表記記号の意味

以下の記号が表記されている項目は、重要項目ですので必ずお守りください。

 危険	誤った扱いをすると、死亡または重傷を負うおそれが想定されることを示しています。
 警告	誤った扱いをすると、重度または軽度のけがや、物的損傷を負うおそれが想定されることを示しています。
 注意	誤った扱いをすると、物的損傷や血糖測定の不具合を負うおそれが想定されることを示しています。

## 危険

- 血糖測定に使用するすべての製品は小児の手の届かないところに保管・管理してください。専用容器の乾燥剤を吸い込んだり、センサーを飲み込んだりする可能性があります。また、目のかゆみや肌のかぶれを引き起こす可能性があります。危険です。

## 警告

- 本品は、自己検査用グルコース測定器です。医療機関の指示無しに、糖尿病の診断をするために本品を使用しないでください。
- 本品にはニプロFS血糖センサー ライトのみご使用ください。
- 測定には新鮮な毛細管全血のみをご使用ください。
- 穿刺前には、必ず流水でよく手を洗ってください。
- 以下のような末梢血流が減少した患者の指先からの採血では、実際の血糖値より低値を示すことがあるため、静脈血等他の部位からの採血によって測定してください。
  - ・脱水症状
  - ・ショック状態
  - ・末梢循環障害
- 指先からの採血とそれ以外の部位からの採血とでは、測定値に違いが認められる場合があります。特に食後、インスリン注射後、運動後といった急激に血糖値が変動する場合に測定値の違いが認められます。測定に際しては、採血部位をよくマッサージすることで、採血部位による測定値の相違を少なくしてください。なお低血糖症状が現れる方、低血糖症状が疑われる方は指先からの採血を推奨します。

## 警告

- 重度の脱水症状(過度の水分欠乏)は偽低血糖の原因となる場合があります。重度の脱水症状と思われる時は、直ちに医師に相談してください。
- 本品およびニプロFS血糖センサー ライトでの測定結果に疑問を感じた場合は、速やかに再測定を行ってください。再測定後も疑問が残る場合は、かかりつけの医療機関に相談してください。
- すべての測定方法に適正に従っても、次のような結果が出る場合は直ちにかかりつけの医療機関に相談してください。
  - ・常に低血糖や高血糖の結果が出る。
  - ・重度の脱水症状になった。
  - ・血糖値測定結果と症状が一致しない。

## ⚠ 警告 (電池/充電について)

- ニプロFS Nextの専用USB Type-Cケーブル、専用ACアダプタ以外は使わないでください。
- 専用USB Type-Cケーブル、専用ACアダプタが損傷している、異常に熱くなっている、変色している場合は使用しないでください。
- 多湿や濡れた場所で充電しないでください。
- 小児の手の届かない場所で充電してください。
- 電気ショックの危険を避けるため、メータ充電中はセンサーを挿入しないでください。

## ⚠ 注意 (測定結果について)

- 果物等の糖分を含む食品等に触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液に混入し、偽高値となるおそれがあります。(アルコール綿による消毒のみでは不十分との報告があります。)
- ヘマトクリット値が異常に低いまたは異常に高い(15%未満または65%を超える)と正確な測定結果が得られない場合があります。(正常なヘマトクリット値は30~50%の範囲です。)

## ⚠ 注意(メータについて)

- 直射日光の当たる屋外や窓際、熱源の近くに置かないでください。測定の異常が生じたり、メータが変形するおそれがあります。
- 水気のある場所では使用しないでください。水に濡れ、内部に水分が入るとメータの故障の原因となります。
- 温度変化の激しい場所での使用を避けてください。測定時に温度が作動範囲(4~40℃)外であった場合は、エラー5が表示され測定できません。室温に30分以上なじませてからご使用ください。
- 血糖測定や保管の際は高温・多湿の場所を避けてください。涼しく風通しの良い場所で保管してください。
- 電磁波を発する携帯電話や電子レンジ、テレビ、低(高)周波治療器等の電子機器の近くで測定しないでください。正しい測定結果が得られないことがあります。電子機器の電源を切るか、または電子機器から1m以上離して測定してください。

## ⚠ 注意(メータについて)

- センサー挿入部およびUSB Type-Cポート、ボタンには、ほこり、血液、ニプログルコースコントロール液、水またはその他の液体が入らないようにしてください。メータに付いた汚れ等は、水で濡らした布をかたくしぼって拭き取ってください。
- センサー挿入部およびUSB Type-Cポートを洗淨しないようにしてください。
- メータを水またはその他の溶液の中に入れてないようにしてください。正しい結果が得られない、またはメータの故障の原因となります。
- 本品の外部を拭く場合は、柔らかい布を用いてください。
- ベンゼンやアセトンのような有機溶剤または家庭用・工業用洗剤は、本品に損傷を与えるおそれがあるため使用しないでください。
- 落とす等してメータに強い衝撃を与えないようにしてください。
- メータを自身で修理、改ざんしないでください。

## ⚠ 注意(センサーについて)

- 再使用はできません。
- 使用期限の過ぎたセンサーは使用しないでください。
- 清潔で乾燥した手で扱ってください。
- 電極部、血液吸入部にはなるべく触れないでください。  
測定結果に異常が生じるおそれがあります。
- 容器から取り出したら、キャップをしっかりと閉めてください。  
キャップを開けたままにすると湿気を吸い、正しい値が得られない場合があります。
- 容器から取り出したらすぐに使用してください。
- 無理にメータに挿入しないでください。
- 直射日光、熱を避けてください。冷蔵または冷凍しないでください。
- 折り曲げたり、切ったりはしないでください。
- 必ず専用容器で保管してください。
- 高温・多湿の場所を避け、4～30℃で保管してください。
- 保管と使用の詳細情報は添付文書をご覧ください。
- 使用済みのセンサーと穿刺器は、医療機関等に相談して穿刺針用の容器で廃棄してください。

## ⚠ 注意(電池/充電について)

- 初めてご使用になる前に、本品を必ず充電してください。(およそ4時間で満充電になります。)
- 充電後、メータ画面の時計を確認してください。
- 電池が完全になくなることを防ぐため、週1回は充電してください。
- 電池残量が非常に少ない場合、その際に表示されていた測定データが記録されないおそれがあります。
- 電池は充電式で交換できません。



測定方法	酵素電極法(クーロメトリー法)	
自動電源オフ	5分後に自動的に電源が切れます	
電源の寿命	約300回測定	
ヘマトクリット値	15～65%	
測定単位	mg/dL	
メモリー	1,000回分の測定結果(日付と時刻を含む)	
使用環境	湿度	5～90% (結露のない状態)
	温度	4～40℃
電源	リチウムイオン充電電池	
測定の範囲	20～500mg/dL	
検体	新鮮な毛細管全血	
検体量	0.3μL	
寸法	W45×H90×D15mm	
重量	約47g(電池を含む)	
無線通信	Bluetooth®、NFC	
付属品	ACアダプタ	

「Bluetooth®」および「ブルートゥース®」は、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ニプロ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。  
Nマークは、NFC Forum, Incの米国その他の国における商標または登録商標です。

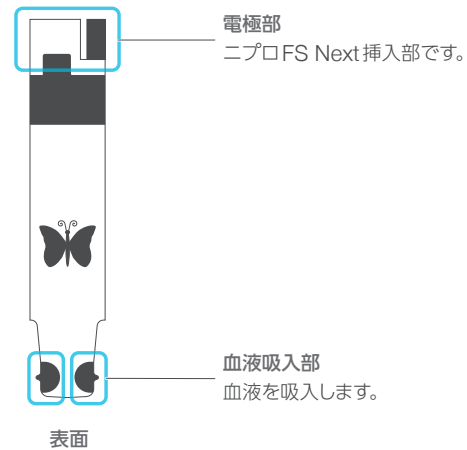
## ニプロFS Nextのセット内容

①	ニプロFS Next(充電式電池を含む)
②	取扱説明書
③	ポーチ
④	USB Type-Cケーブル
⑤	専用ACアダプタ

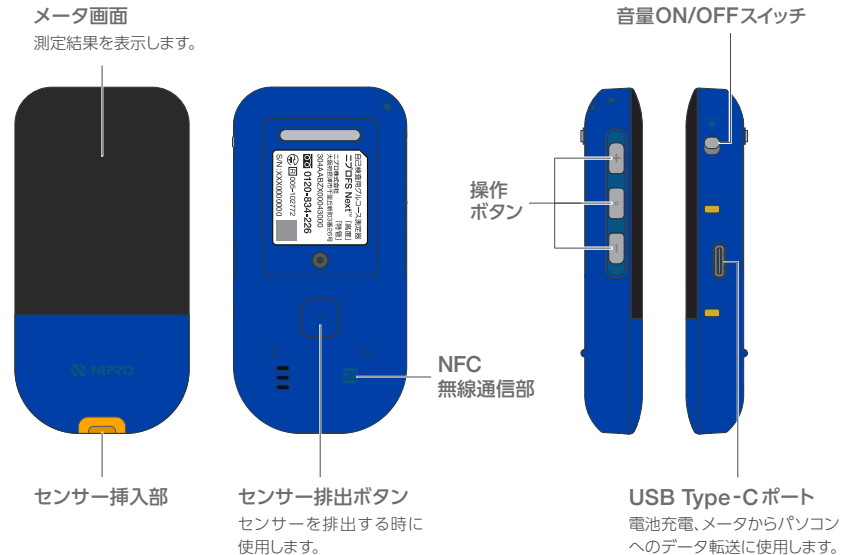


## ニプロFS血糖センサー ライト

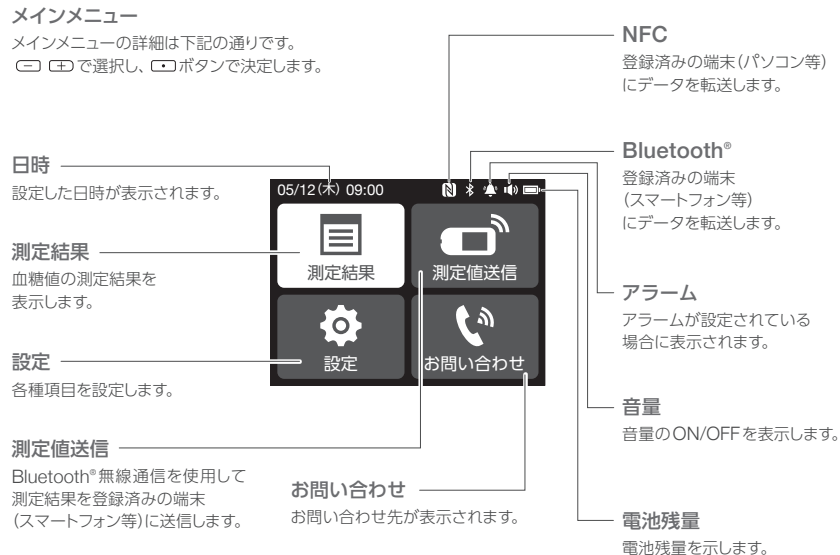
ニプロFS血糖センサー ライトは毛細管全血を使用し、血糖値の測定を行います。



## 各部の名称(メータ)



## 各部の名称(画面表示)



## 1 電源を入れる

□ ボタンを押すと、メータの電源が入り、右の画面が表示されます。画面表示がメインメニュー画面になると、メータ内の測定値を見る、設定等の内容を確認、変更ができます。



メインメニュー画面

## 2 測定する

メータにセンサーを挿入すると、メータが起動し、測定モードになります。



## 3 電源を切る

□ ボタンを3秒間押すと、メータの電源が切れます。センサーを排出することで、電源を切ることもできます。2分間で画面が暗くなり、5分間で電源が切れます。

## 測定結果

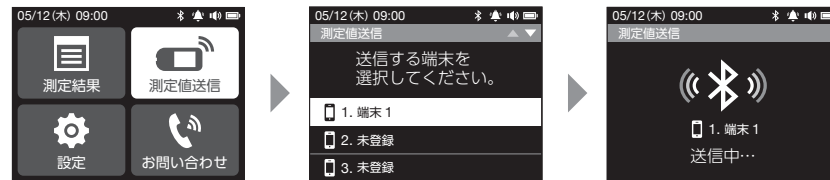
メインメニューより「測定結果」を選択すると、最新の測定結果から順に血糖値を表示します。  
⊕ ボタンでカーソルが下に、⊖ ボタンで上に移動し、過去の測定値が表示されます。



ニプロFS Nextは血糖値の測定結果を5色(赤、オレンジ、緑、水色、青)で表示します。  
血糖値による指標色の範囲は、メインメニューの「設定」内の「目標値」により設定できます。  
詳細は39～40ページをご覧ください。

## 測定値送信

メインメニューより「測定値送信」を選択すると、送信する端末を選択し、データを送信することができます。



## 設定

メインメニューより「設定」を選択すると、下記項目の設定ができます。

音	音声/ブザー音、音量の調整を設定します。
明るさ	画面の明るさを設定します。
アラーム	アラームを設定します。
通信	Bluetooth®、NFCを設定します。
目標値	血糖値の目標範囲を設定します。
日時	現在の日時、12時間表示/24時間表示を設定します。
じゃんけん	じゃんけんの表示・非表示が可能です。
表示方向	メータの表示方向を変えることが可能です。



## 日時の設定

### 1 電源を入れる

初めてメータを使用する前にメータの日時等、設定項目を確認してください。

□ ボタンを押すと、メータの電源が入り、右の画面が表示されます。



### 2 「設定」を選択する

メインメニューが表示されます。

⊕ ボタンを2回押し、「設定」を選択、□ ボタンで決定します。



### 3 「日時」を選択する

「日時」を選択し、□ ボタンで決定します。



### 4 年を変更する

⊖ ⊕ ボタンで年を変更します。

⊖ を1回押しと1戻ります。⊕ を1回押しと1進みます。

変更が完了したら、□ ボタンで決定します。

月に移行します。



## 5 月を変更する

ボタンで月を変更し、 ボタンで決定します。  
日に移行します。



## 6 日を変更する

ボタンで日を変更し、 ボタンで決定します。  
時に移行します。



## 7 時を変更する

ボタンで時を変更し、 ボタンで決定します。  
分に移行します。



## 8 分を変更する

ボタンで分を変更し、 ボタンで決定します。  
  ボタンで12時間表示、24時間表示を選択し、 ボタンで決定します。決定すると、チェックマークが表示されます。  
設定が完了したら、 ボタンで「もどる」を選択し、 ボタンで決定します。





## 音の設定

### 1 「音」を選択する

設定メニューより「音」を選択し、ボタンで決定します。



### 2 「音声」を選択する

画面で現在の音声設定と音量が確認できます。

ボタンで「音声」を選択し、 ボタンで決定します。



### 3 「音声」または「ブザー音」を選択する

ボタンで「音声」または「ブザー音」を選択し、 ボタンで決定します。決定すると、チェックマークが表示されます。

「音声」に設定すると、各設定・測定画面にて日本語でアナウンスされます。「ブザー音」に設定すると、血糖測定(センサー挿入/カウントダウン開始/測定結果表示)時にはブザーが鳴ります。



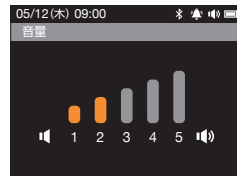
### 4 「音量」を選択する

ボタンで「音量」を選択し、 ボタンで決定します。



## 5 音量を変更する

◀ ▶ ボタンで音量を変更します。  
音量は5段階で設定することができます。  
変更が完了したら、◻ ボタンで決定し、前の画面に戻ります。



小さい ← → 大きい


◻ ボタンで一番左にすると、音量がゼロになり、上部のアイコンが変わります。ブザー音を選択した場合でも、音量はゼロになります。音量ON/OFFスイッチをOFFにすると音量がゼロになり、ONにするとここで設定された音量になります。



音量ON/OFFスイッチ




## 明るさの設定

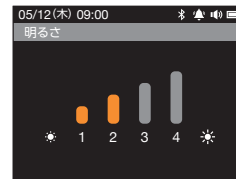
### 1 「明るさ」を選択する

設定メニューより「明るさ」を選択し、 ボタンで決定します。



### 2 明るさを変更する

  ボタンで明るさを変更し、 ボタンで決定し前の画面に戻ります。



暗い ←————→ 明るい

## アラームの設定

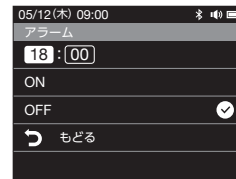
### 1 「アラーム」を選択する

設定メニューより「アラーム」を選択し、 ボタンで決定します。  
4回分のアラームの設定ができます。  
設定したいアラームを選択し、 ボタンで決定します。



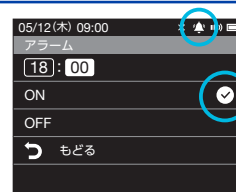
### 2 時間を入力する

ボタンで時間を変更し、 ボタンで決定します。  
同様に分を変更し決定します。



### 3 ON/OFFを設定する

ボタンでアラームのON/OFFを選択し、 ボタンで決定すると、チェックマークが表示されます。ONを選択した場合は、上部にアイコンが表示されます。



## 1 「目標値」を選択する

設定メニューより「目標値」を選択し、 ボタンで決定します。  
血糖値の境界値が表示されます。  
測定結果は境界値を基準に5色の指標色で表示されます。  
初期設定値は、以下のようになっています。

高い(赤)	500mg/dL 以上
やや高い(オレンジ)	499mg/dL
目標範囲(緑)	22~498mg/dL
やや低い(水色)	21mg/dL
低い(青)	20mg/dL 以下

### 注意

目標値および各境界値の設定はかかりつけの医療機関と相談して変更してください。



境界値


## 2 境界値を変更する

ボタンで数値を変更し、 ボタンで決定します。  
設定後、測定結果に指標色が適応されます。  
設定完了後、「 もどる」を選択し設定メニューからメインメニューに戻ります。






## じゃんけん機能の設定

### 1 「じゃんけん」を選択する

設定メニューより「じゃんけん」を選択し、 ボタンで決定します。



### 2 ON/OFFを設定する

  ボタンでON/OFFを選択し、 ボタンで決定します。  
決定すると、チェックマークが表示されます。  
じゃんけん機能をONに設定すると、測定後にじゃんけんが開始されます。






## 表示方向の変更

### 1 「表示方向」を選択する

設定メニューより「表示方向」を選択し、 ボタンで決定します。



### 2 表示方向を変更する

  ボタンで表示方向を変更し、 ボタンで決定します。決定すると、チェックマークが表示されます。



## ニプログルコースコントロール液(別売)

ニプログルコースコントロール液は、既知量のグルコースが含まれており、メータおよびセンサーの性能や測定手技の確認をするために使用します。

精度管理は血糖測定のたびに行う必要はありません。以下のような場合に行ってください。

- メータを落としたり、ぶついたりしたとき。
- 測定値がおかしいと感じたとき。  
(例) 予想した血糖値よりも著しく低すぎたり高すぎる数値が表示されたとき。



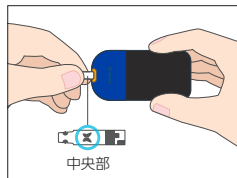
## ⚠ 注意

- ニプログルコースコントロール液以外は使用しないでください。
- コントロール液の使用期限を確認してください。(開封後3か月か使用期限までのいずれか短い日付までです。)
- 使用期限の過ぎたコントロール液は使用しないでください。
- 容器ラベルに廃棄日(容器を開封してから3か月後の日)を記入してください。
- メータ、センサー、コントロール液を室温になじませてから、必ず20~25°Cの環境でテストしてください。
- 必ずよく振ってからご使用ください。初めの数滴は捨て、先端を拭いてきれいにしてからテストしてください。
- 使用後は容器の蓋をきちんと閉め、室温で保管してください。
- 直射日光に注意し、小児の手の届かないところに保管してください。
- 冷凍しないでください。
- 水等の液体を添加しないでください。
- コントロール液を目に入れないでください。
- コントロール液を服用しないでください。
- 衣類に付着すると着色する場合があります。



## 1 センサーを挿入する

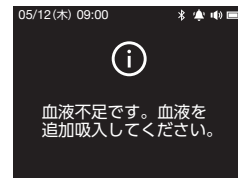
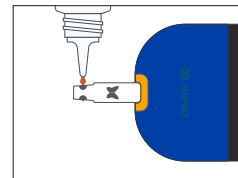
電極部をメータに向け、センサー中央部を持ち、電極部をメータに挿入します。自動で電源が入り、採血画面が表示されます。



## 2 コントロール液を吸入する

コントロール液をよく振り、初めの数滴を捨ててからセンサーの血液吸入部よりコントロール液を吸入します。

コントロール液が足りない場合は、画面に「血液不足です。血液を追加吸入してください。」と表示されます。60秒以内であればセンサーの同じ側から再吸入できます。



コントロール液が足りない場合

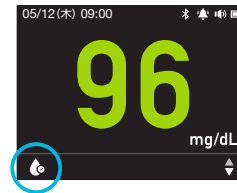
## 3 測定する

測定中の画面から、約4秒で測定値が表示されます。



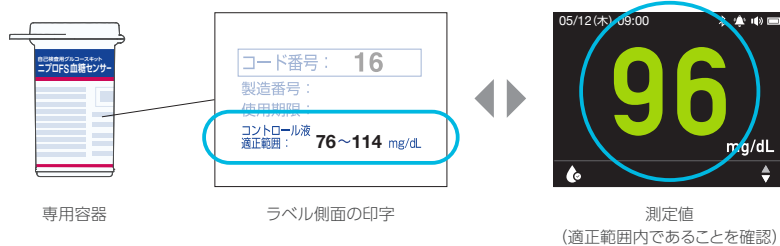
## 4 コントロールマークを表示する

☑ ボタン長押し(3秒)でコントロール液マークを表示します。



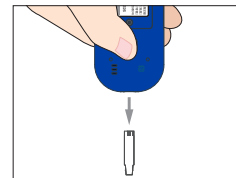
## 5 測定結果を確認する

専用容器のラベルに印字されているコントロール液の適正範囲と結果を比較します。結果がコントロール液の適正範囲内の数値であることを確認してください。表示された数値がコントロール液の適正範囲内の数値であれば、メータとセンサーは正常に作動していることを示しています。



## 6 センサーを廃棄する

センサー排出ボタンを押して使用済みセンサーを安全に排出し、廃棄してください。



## 適正範囲を外れた場合

コントロール液の測定結果が専用容器のラベルに印字されている「コントロール液適正範囲」を外れた場合、再度、コントロール液の測定を行ってください。  
範囲外になる要因として下記の事が考えられます。

- コントロール液を振らずに使用した場合。
- コントロール液の使用期限が過ぎている。または、汚染されている場合。
- メータ、センサー、コントロール液が高い/低い温度で保管、使用されている場合。
- コントロール液の初めの数滴を使用した、または、コントロール液容器の先端をきれいに拭かずに行った場合。
- センサーの使用期限が過ぎている場合。
- メータに問題がある場合。
- センサーに問題がある場合。

詳しい取り扱いにつきましては、ニプログルコースコントロール液(別売)の取扱説明書も併せてご覧ください。

## 警告

センサー容器のラベルに印字されているコントロール液適正範囲は、ニプログルコースコントロール液のみに適応されるものです。血糖測定結果には関係ありません。ニプログルコースコントロール液の測定値が適正範囲外である場合、再測定してください。再測定しても測定結果が適正範囲外である場合、メータ、センサーの使用をやめ、「製品に関するお問い合わせ先」(本書裏表紙に記載)までご連絡ください。

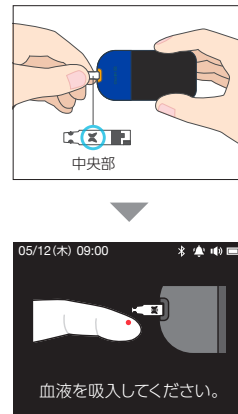
## 1 測定の準備をする

センサーと穿刺器を準備してください。



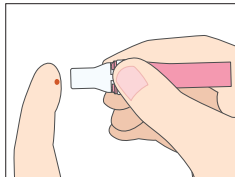
## 2 センサーを挿入する

電極部をメータに向け、中央部を持ってセンサーをメータに挿入します。自動で電源が入り、採血画面が表示されます。



## 3 穿刺する

穿刺器を用いて、必要量の血液を出します。(必要血液量0.3 $\mu$ L)

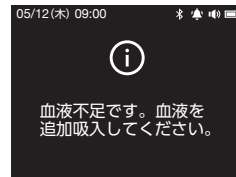
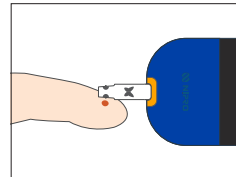


## 4 血液を吸入する

センサーの血液吸入部から血液を吸入します。

「血液を吸入してください。」の画面が表示されている間に、血液をセンサーの突起から吸入してください。

血液吸入後5秒たっても測定中の画面が表示されない場合は、画面に「血液不足です。血液を追加吸入してください。」と表示されます。60秒以内であればセンサーの同じ側から再吸入できます。



血液が足りない場合

## ⚠ 注意

- センサーの使用は1回に限り、使用済みのセンサーは廃棄してください。
- 測定ごとにセンサーのどちらか一方の血液吸入部からのみ血液を吸入します。  
(両方に血液を吸入させないでください。正しい結果が得られない場合があります。)
- 測定部位にセンサーを押し付けしないでください。
- センサーに血液をこすりつけしないでください。
- センサーの血液吸入部以外に血液を付けしないでください。
- センサーがメータに差し込まれていないときには、センサーに血液を付けしないでください。
- センサー挿入部の中に血液または異物を入れないでください。



どちらか一方からのみ  
血液を吸引してください

## 5 測定結果を確認する

測定中の画面から、約4秒で測定値が表示されます。  
目標値が設定されていますので、測定値の高値、低値により数字の色が変わります。  
目標値の設定につきましては、39~40ページをご確認ください。



## 6 「食後」のマークを表示する(食後に測定した場合)

測定結果に「食後」のマークをつけることができます。  
測定結果表示中に [⊕] ボタンで「食前」/「食後」を選択します。  
「食後」を選択すると食後マークが表示されます。「食前」を選択すると何も表示されません。

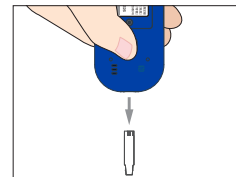
### ⚠ 注意

食後マークを表示せずにセンサーを抜くと、食前の測定結果として記録されます。



## 7 センサーを廃棄する

センサー 排出ボタンを押して使用済みセンサーを安全に排出し、廃棄してください。  
じゃんけんがONに設定されている時は、センサー排出後にじゃんけんが始まります。





# High, Low の表示

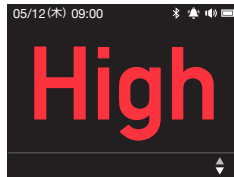
ニプロFS Nextの血糖値測定範囲は20~500mg/dLです。  
High(高)およびLow(低)メッセージが表示された場合、下記説明をご確認ください。

## Highメッセージ

測定結果が501mg/dL以上の場合、「High」が表示されます。

### ⚠ 注意

「High」が表示された場合、再測定してください。結果が同じであれば、直ちにかかりつけの医師に相談してください。

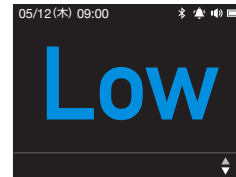


## Lowメッセージ

測定結果が20mg/dL未満の場合、「Low」が表示されます。

### ⚠ 注意

「Low」が表示された場合、再測定してください。結果が同じであれば、直ちにかかりつけの医師に相談してください。



ニプロFS Nextは過去1000回の測定結果を測定日時と共に保存します。それ以上は、古いデータから自動的に消去され、新しいデータが上書きされていきます。過去のデータが必要となる場合がありますので、測定時は、その都度血糖値管理表等による記録も行ってください。

## 1 「測定結果」を選択する

□ ボタンを押し、電源を入れます。

メインメニュー画面より「測定結果」を選択すると、右の画面が表示され、最新の測定結果から順に見ることができます。

⊕ ボタンを押すと、過去の測定結果を順に表示していきます。



## 2 「測定結果」を終了する

□ ボタンでメインメニューに戻るか、□ ボタンを3秒間押して、メータの電源を切ることにより「測定結果」を終了することができます。

# データ通信 (Bluetooth® 無線通信の使い方)

Bluetooth®無線通信機能により測定結果のデータを端末(スマートフォン等)に最大3台まで転送することができます。(※端末には専用のデータ管理アプリをダウンロードする必要があります。)

詳しくは、製品に関するお問い合わせ先にご連絡ください。

「設定」からの端末登録とデータ送信

## 1 「通信」を選択する

設定メニューより「通信」を選択し、ボタンで決定します。



## 2 「Bluetooth」を選択する

「Bluetooth®」を選択し、ボタンで決定します。



## 3 「ペアリング」を選択する

「ペアリング」を選択し、ボタンで決定します。

### ⚠ 注意

事前にスマートフォン等にアプリをダウンロードします。メータおよびスマートフォン等のBluetooth®無線通信をオンにし、アプリを起動しておきます。



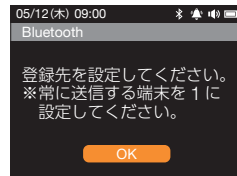
## 4 ペアリングする端末を選択する

右の画面が表示されます。

○ ボタンで決定し、登録先設定に移ります。

⊖ ⊕ ボタンでペアリングする端末を選択し、○ ボタンで決定します。

「1」に設定した端末には、測定後に自動でデータ送信されます。

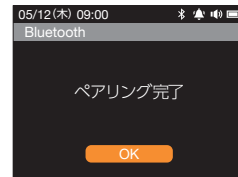


## 5 ペアリングする

ペアリング中の画面が表示されます。


「ペアリング完了」の画面が表示されたら成功です。

初めて接続すると、メモリ内の測定結果もペアリング後にデータ送信されます。



## 「測定値送信」からの端末登録とデータ送信

### 1 「測定値送信」を選択する

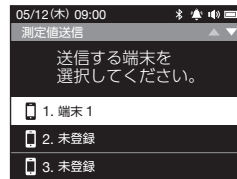
設定メニューより「測定値送信」を選択し、 ボタンで決定します。



### 2 送信先を選択する

送信する端末を選択します。

※「未登録」を選択するとペアリングが始まります。



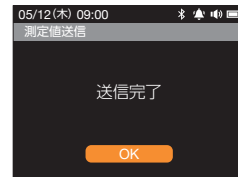
### 3 測定値を送信する

送信中画面が表示されます。

送信が完了すると、「送信完了」が表示されます。

#### 注意

事前にスマートフォン等にアプリをダウンロードします。メータおよびスマートフォン等のBluetooth®無線通信をオンにし、アプリを起動しておきます。



## 測定後の自動データ送信

センサーを排出すると送信中の画面が表示されます。

送信が完了すると、「送信完了」が表示されます。

登録先端末の「1」のペアリング完了後は、血糖値の測定後センサーを排出すると、自動で測定結果が送信されます。

### ⚠ 注意

事前にスマートフォン等にアプリをダウンロードします。メータおよびスマートフォン等のBluetooth®無線通信をオンにし、アプリを起動しておきます。



# データ通信 (NFC 無線通信の使い方)

NFC 無線通信機能により測定結果のデータを端末 (パソコン等) に転送することができます。

(※端末には専用のデータ管理アプリをダウンロードする必要があります。)

詳しくは、製品に関するお問い合わせ先にご連絡ください。

## 1 「設定」を選択する

設定メニューより「設定」を選択し、 ボタンで決定します。



## 2 「通信」を選択する

「通信」を選択し、 ボタンで決定します。



## 3 「NFC」を選択する

「NFC」を選択し、 ボタンで決定します。



## 4 ON/OFFを設定する

NFCのON/OFFを選択・決定すると、チェックマークが表示され、上部にアイコンが表示されます。

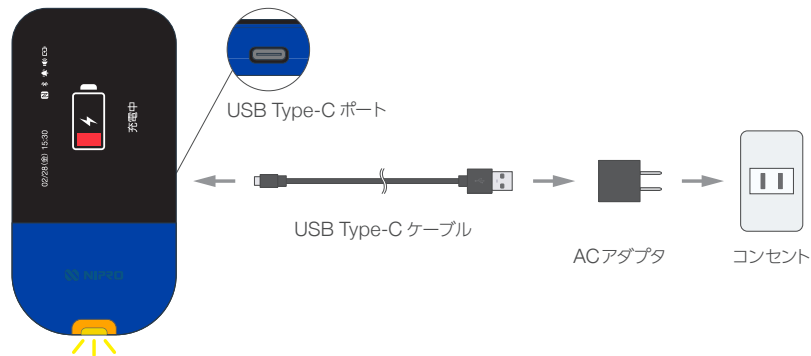




## コンセントからの充電(専用ACアダプタ使用)

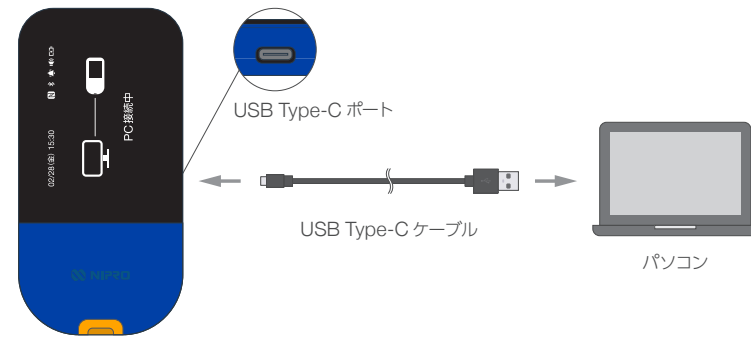
メータのUSB Type-Cポートに専用USB Type-Cケーブルを接続し、反対側を専用ACアダプタに接続し、コンセントに差し込みます。メータが電源との接続を検知し、メータの画面に充電中が表示されます。(およそ4時間で満充電になります。)

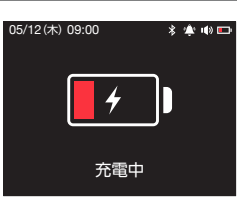
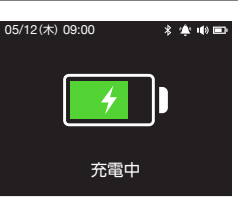
充電開始時は画面中央に30秒間表示され、表示が消えた後はセンサー挿入口ライトがONになります。



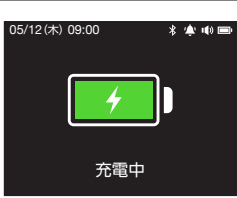
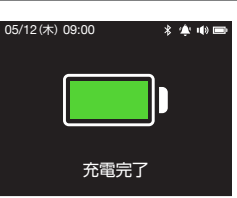
## パソコン(起動状態)からの充電

メータのUSB Type-Cポートに専用USB Type-Cケーブルを接続し、反対側をパソコン(起動状態)のUSBポートに接続し、充電してください。



電池残量	0~20%	22~94%
充電始開時の画面 最初の30秒間表示されます	 <p>充電中</p>	 <p>充電中</p>
センサー挿入口ライト	ON	ON

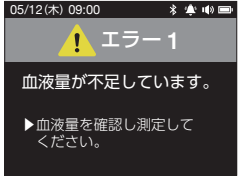
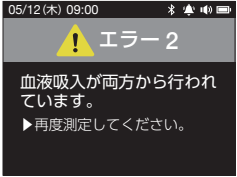
充電が100%完了した後、充電ケーブルを差したまま放置した場合、電池残量が62%以下になると充電が再開されます。

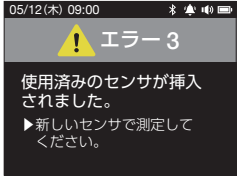
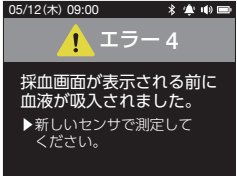
95~99%	100%
 <p>充電中</p>	 <p>充電完了</p>
ON	OFF

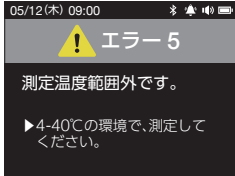
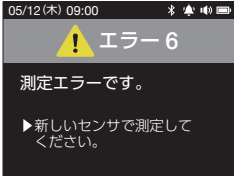
## ⚠ 注意


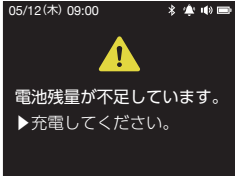
- 電池残量がゼロの場合、上記画面が表示されない場合があります。
- 充電中は測定できません。
- 充電できない場合等は、製品に関するお問い合わせ先にご連絡ください。

メータ使用時にエラーが発生すると、エラー画面とエラー対処方法が表示されます。

番号	エラー 1	エラー 2
表示		
考えられる原因	血液量が不足しています。	血液吸入がセンサーの両方から行われています。
対処方法	血液量を確認し再度新しいセンサーで測定してください。	新しいセンサーで測定してください。採血画面が表示されたら、血液を吸入してください。

番号	エラー 3	エラー 4
表示		
考えられる原因	使用済みのセンサーが挿入されています。	採血画面が表示される前にセンサーに血液が吸入されています。
対処方法	新しいセンサーで測定してください。	新しいセンサーで測定してください。

番号	エラー 5	エラー 6
表示		
考えられる原因	測定温度範囲外です。	測定エラーが発生しました。
対処方法	4~40℃の環境にて、新しいセンサーで測定してください。	新しいセンサーで測定してください。

番号	エラー 7	その他
表示		
考えられる原因	システムエラーです。	電池残量が不足しています。
対処方法	製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。	メータを充電してください。

対処を行ってもエラーメッセージが繰り返し表示される場合は、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。

問題	考えられる原因と対処方法
センサーを入れてもメータの電源が入らない	センサーの電極部が正しい向きで挿入されているか、センサーが奥まで完全に挿入されているかを確認してください。
血液を吸入させた後測定が開始されない	センサーに十分な血液が充填されているかをチェックしてください。新しいセンサーで測定をやり直してください。
測定結果が予想と違う	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しいセンサーで測定をやり直してください。</li> <li>• コントロール液を使用して動作確認を行ってください。</li> <li>• かかりつけの医療機関等に相談してください。</li> <li>• センサーの使用期限を確認してください。</li> <li>• メータを確認してください。</li> </ul>

これらの対処を行っても問題が解決しない場合は、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。

## 保証

ニプロFS Nextの保証期間はご購入から3年間です。保証期間内に故障した場合は無料で交換いたします。

**以下に該当する場合は保証の対象外となります。**

- 使用上の不注意による故障ならびに損傷等の場合。
- 取扱説明書に準じた適正な使用を行わなかった場合。
- 保証期間が切れている場合。
- 当社以外での修理・調整・改造が行われている場合。